

「低侵襲医療トレーニングセンター」に新たに導入されたロボット支援手術トレーニングシミュレータ(写真左・詳細は3ページ)



災害医療VR動画の1場面と、VRゴーグルを装着して視聴する医学生たち(写真右・詳細は4ページ)

P1 特集1

オール熊本で
脳卒中・心臓病の
予防啓発と患者支援に邁進

P2 HOSPITAL TOPICS

P3 特集2

熊本の将来を担う
優れた医療人の
育成を目指して

P4 知っ得!納得!Q&A

災害医療VRってなに?

P5 診療科・部門紹介

*消化器内科
*中央放射線部

P6 看護部だより

中央放射線部
看護師の活動紹介

裏表紙 総合案内

熊本大学病院
**メール
マガジン**
情報ダイジェストを
毎月1回
お届けします!



登録、フォローお願いします!

熊本大学病院
公式 X
(旧ツイッター)
様々な情報を
いち早く
お届けします!



本院の理念と方針及び 患者さんの権利と責務

Kumamoto University Hospital Medical Policy.

理念

本院は、高度な医療安全管理によって、患者本位の医療を実践し、医学の発展及び医療人の育成に努め、地域の福祉と健康に貢献する。

方針

- 高度な医療安全管理体制による安全安心で質の高い医療サービスの提供
- 患者の希望、期待、要求を尊重する医療の実践
- 先進医療の開発・推進と優れた医療人の育成
- 地域社会に貢献できる医療・防災の拠点形成
- 理念達成のための健全な運営・経営の実践

患者さんの権利

- 個人の尊厳と意向が尊重されます。
- 良質な医療を公平に受ける権利があります。
- 十分な説明と情報提供を受ける権利があります。
- ご自分の意思で医療を選ぶことができます。
- ご自分の病状や治療方針について、他の医療機関の医師に意見(セカンドオピニオン)を求めることができます。
- 小児や高齢の方、意思を表出しづらい方も、適した方法でコミュニケーションが図られます。
- プライバシーや個人情報保護されます。

患者さんの責務

- ご自分の健康状態について正確に伝えてください。
- 治療に積極的に参画してください。
- 社会のルール、本院の規則を守ってください。
- 迷惑行為を行わないでください。
- 医療費を遅滞なく支払ってください。

ご寄附の お願い



1. 熊本大学基金 「病院診療教育研究支援事業」

熊本大学病院は、最良の医療を提供するための患者サービス向上、診療活動、医療人の教育・学術研究及び地域貢献活動への支援・環境整備等に資するため、「病院診療教育研究支援事業」を創設しました。

【お問合せ】
熊本大学 研究・社会連携部 社会共創推進課
基金・同窓会事業室 TEL 096-342-3129

2. 病院寄附金

熊本大学病院では、若手医師をはじめとした医療人の教育・学術研究の支援並びに大学病院の管理運営等に資するため、企業や個人の皆様の篤志に基づいて寄附金を受け入れております。

【お問合せ】熊本大学
医薬保健学系事務課 医学事務チーム
研究支援担当 TEL 096-373-5658

ご寄附をいただいた場合、税制上の優遇措置を受けることができます。詳細は熊本大学病院ホームページをご覧ください。

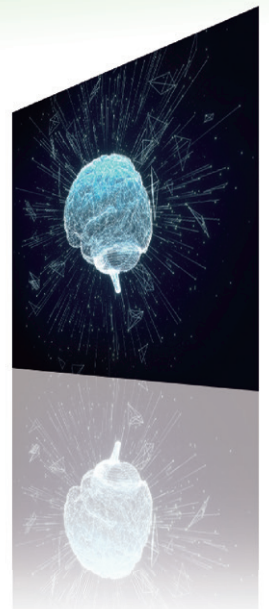
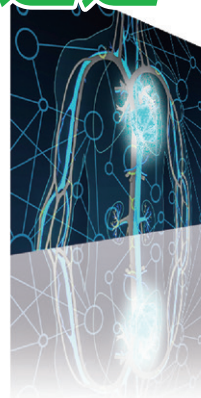
スマホ・携帯電話の方は
こちらから



オール熊本で脳卒中・心臓病の 予防啓発と患者支援に邁進

【監修】脳卒中・心臓病等総合支援センター長 辻田 賢一

2020年10月の循環器病対策推進基本計画の閣議決定に基づき、2022年3月熊本県循環器病対策推進計画を発表しました。キャッチフレーズは、「県民が循環器病を予防し、たとえ発症しても安心して暮らせる熊本」。また、2022年3月には、厚生労働省のモデル事業「脳卒中・心臓病等総合支援センター」の公募に採択され、積極的な患者支援に乗り出しています。熊本大学病院が熊本県と連携し進めている取り組みのいくつかを紹介します。



2. 「脳卒中・心臓病等総合支援センター」の取り組みと心リハを駆使した心不全支援

熊本県と連携し、厚労省モデル事業に応募し、熊本大学病院内に「脳卒中・心臓病等総合支援センター」を設置しました(写真2)。広く県内拠点医療機関における患者支援・予防の取り組みを促進するため、急性期拠点病院ならびに回復期・維持期医療機関に対し、各機関内支援センター設置を呼びかけ、賛同を得ています。また、がん患者支援の取り組みと比較し十分に心臓病患者支援の情報提供が進んでいない現状を鑑み、各医療圏における多職種連携の研修会や市民公開講座を開催しました。また、心不全療養指導士を中心としたメディカルスタッフとの心不全連携強化の研修講演会、「熊本県心不全療養指導士 多職種連携セミナー」を複数回開催し、心不全療養指導士の増加と資質向上を図っています。さらに、心臓リハビリに特化した心臓リハビリテーション寄付講座を新設し、熊本県心臓リハビリテーション推進検討会を発足させ、心臓リハビリテーションを駆使した循環器病患者の予後改善、ADL向上の取り組みを加速させています。

写真2



自己検脈の啓発講演会

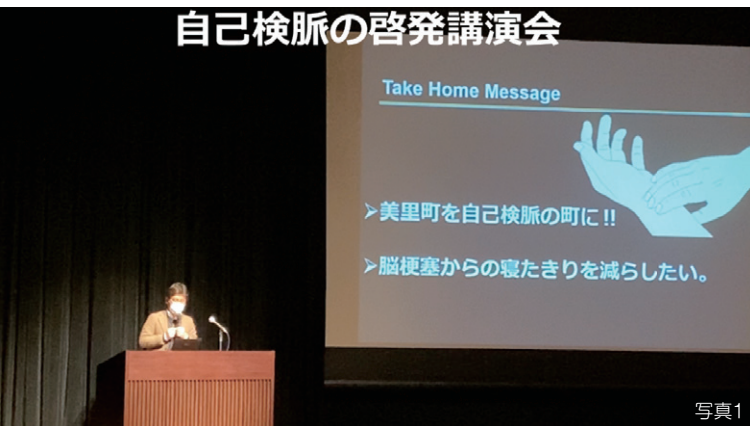


写真1

1. 人生100年コンソーシアムと連動した心電図検査普及と自己検脈推進運動

熊本県では、従来「オールくまもと」で、地域の健康課題の見える化やその対応策を検討するため、「人生100年くまもとコンソーシアム」を設立し、医療・健診等データ分析に基づく各地域の対応策の検討・立案を行ってきました。保険者が実施する保健事業が効果的に推進される支援でもあります。この活動の中で、循環器病の部会では、「心電図健診の普及」と「自己検脈推進」に取り組んでいます。通常健診における心電図検査は詳細健診対象者のみですが、一部の市町村において集団特定健診受診者全員に実施する体制にしたところ、心房細動有所見者は明らかに増加し、ほとんどが抗凝固薬の適応症例でした。また、より効率的な心房細動検出に向けて、市町村住民を対象とした講演会や市政だよりで自己検脈啓発活動を展開しています(写真1)。

スペシャルライトアップを行いました [熊本大学病院ライトアッププロジェクト]

当院では疾病啓発を目的として、病院正門側(産業道路側)の時計塔とプロムナードを、様々な色彩にライトアップするプロジェクトを行っています。

2021年10月1日にスタートした当プロジェクトも丸2年の節目を迎えるにあたり、さらなる疾病啓発と地域住民の方々に楽しんで頂くことを目的とし、8月17日～31日の期間中これまでライトアップされた全ての色を、時間の経過と共に次々と点灯しました。

スペシャルライトアップ特設ページ

<https://www.kuh.kumamoto-u.ac.jp/etc/news/230817/>



期間中はさまざまな色の光が院内を彩りました

七夕祭り、ちっちゃな夏祭りを4年ぶりに開催

2023年6月26日～7月9日の期間中「七夕祭り」を実施しました。中央診療棟エントランス(時間外出入口)に設置された色とりどりの吹き流しや笹飾りが、来院される方々の目を楽しませていました。

8月22日、本院に入院している子ども達とそのご家族を対象に「ちっちゃな夏祭り」を開催。バルーンアートショーを目にした子ども達の大きな歓声と拍手が会場に響き、ヨーヨー釣りやくじびきなどの夜店で楽しい夏祭りとなりました。



災害備蓄食料のフードバンク熊本への提供について

2023年3月17日、熊本大学病院から“フードバンク熊本”へ災害備蓄食料を提供しました。

熊本大学病院では、有事に備えて入院患者さんや熊本大学の学生、病院職員用に食料品等を備蓄しており、今回は災害備蓄倉庫内の食料の内、2023年7月に賞味期限を迎えるフリーズドライご飯240食を提供しました。この取り組みは“フードバンク熊本”を通じて支援が必要な人や団体に配布する社会貢献活動を行うもので、フードロス削減にもつながるものです。



病院からのお願い — 提供する医療の質や安全を確保するために —



病状説明等は、原則として
平日の診療時間内
とさせていただきます。

医療スタッフの健康と医療安全を守るため、患者・ご家族の皆様のご理解とご協力をお願いします。

熊本大学病院長

ボランティア活動員募集

●活動時間

月曜日～金曜日(休日を除く)8:30～17:00
※回数、時間はご相談に応じます。
(週1回、2～3時間の活動でも可能です。)



●ボランティア内容

外来でのお世話、受診手続きの説明等、診療科等への案内、車椅子の手配と介助、幼児の世話、通訳、手話通訳、視聴覚障害者への受診付添、自動再来受付機等の操作案内など

スマホ・携帯電話の方はこちらから



【お問合せ】熊本大学病院 医療サービス課 外来担当 TEL096-373-5557 <https://www.kuh.kumamoto-u.ac.jp/kuh/volunteer.html>

熊本の将来を担う 優れた医療人の育成を目指して

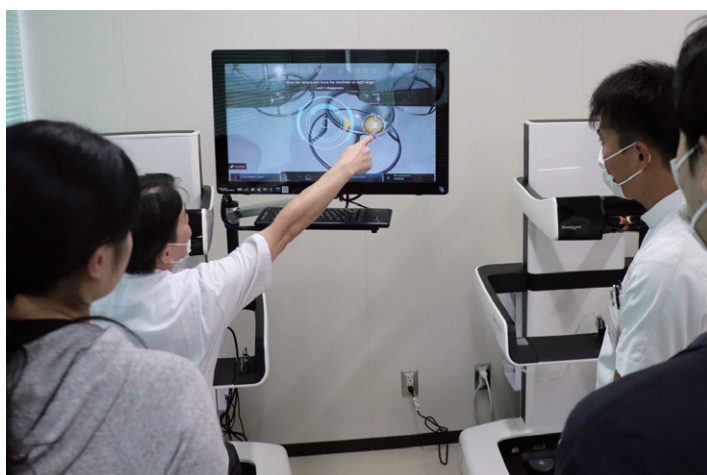
【監修】総合臨床研修センター長 向山 政志

総合臨床研修センターは熊本大学病院が担う「優れた医療人の育成」という社会的使命を果たすため、平成14年に設置されました。医師、研修医、学生、メディカルスタッフを対象に卒前教育、卒後研修に加え、生涯学習も含めた臨床教育を支援しています。平成16年度から医師免許取得後に2年間（歯科は1年間）の初期研修が義務付けられ、センターの果たす役割は益々大きくなり、これまでに本センターは多くの医師、歯科医師の初期研修をサポートしてきました。しかしながら、近年は本院の研修医が減少してきたことから、より魅力ある研修プログラムにするための取り組みを行いました。具体的には、①研修医が関連病院をより自分好みにローテートすることが可能な自由設計コースの設置、②熊本大学病院内での準夜帯の救急研修の開始、③住居手当などの処遇面の改善などを行い、この結果、令和5年度は本院の研修医が増加に転じております。さらに今年度は、④

⑤研修医・医学生と各診療科との距離を近づけるためのマッチングシステム（診療科が研修医を学会に連れて行くなど）を開始しています。本院の初期研修プログラムの最大の特徴は大学病院での高度かつ専門性の高い医療と、市中病院でのgeneralな医療をバランスよく学べる点であり、様々な取り組みを通じて本院の魅力を発信していきたいと思っております。

令和5年4月からは、低侵襲医療を担う医師及び地域間医療格差のない質の高い医療を提供する医師を育成することを目的とした「低侵襲医療トレーニングセンター」及び「遠隔診療トレーニングセンター」を総合臨床研修センターに設置しました。手術支援ロボット・血管造影の最新のシミュレーターや、遠隔地での聴診所見を画像に変換して転送できる超聴診器を導入し、トレーニング施設としてもますます充実しています。

今後も「優れた医療人の育成」のために魅力的なプログラムを提供できるように取り組んで参ります。



ロボット支援手術
トレーニングシミュレータ
リアルな3D立体映像で、ロボット
支援手術のトレーニングを行うこと
ができる最新機器を導入しました



災害医療 VR ってなに？

VRは「Virtual Reality」の略で、日本語では「仮想現実」と呼ばれます。

災害時の医療は講義や訓練などで学ぶことはできますが、実際の災害現場で診療の実習を行うことは困難です。そこで、我々は災害現場における医療を疑似体験できるVR動画を作製しました。

具体的にどんなことに活用されるの？

Q 災害医療ってなに？

災害とは突然発生した異常な自然現象(地震や豪雨など)や人為的な原因(鉄道や航空機事故など)により、人間の社会的な生活、生命や健康に被害が発生する状態とされ、対応必要量の増加が通常の対応能力を上回るため、迅速な調整と非被災地からの支援が必要とされます。平時の医療対応能力を上回る多数の傷病者の発生に対して「防ぎえた災害死」を防止するために、トリアージによって医療の優先順位を決めるなど平時と異なる医療提供体制が求められます。



災害医療VR動画の1場面

Q 具体的にどんなことに活用されるの？

今回作製したVR動画では、医療チームの医師目線での活動を学ぶことができます。そのため、医学部医学科の臨床実習の中で、VR動画を用いた講義を行っています。その際に、単に動画を視聴するのみではなく、重要ポイントについて解説するスライドを用いた補足や、質疑などを行って学生の理解度を高める工夫を行っています。

さらに医学生のみならず初期研修医などの若手医師においても災害医療について学ぶ機会は少ないと考えられますので、本VR動画の活用が期待されます。



VRゴーグルを装着してVR動画を視聴する医学生たち

Q どうしてVRを使うの？

自然災害の多い日本では医学部の卒前・卒業後教育において災害医療教育の重要度が増えています。しかしながら実際に発生した災害現場で医療に関する研修や実習を行うことは困難です。医学部の教育カリキュラムでは内科や外科など通常の診療科では講義などの座学の後に病院の診療現場で臨床実習を行って医師に求められる診療技能の習得に務めています。災害時に求められる医療の疑似体験を目的に本VR動画を作製しました。

消化器内科

消化器内科では、食道、胃、大腸のような消化管や肝臓、胆嚢、膵臓といった消化器官と呼ばれる臓器に関する病気の診断や治療を行なっています。特に大学病院では癌のような悪性腫瘍や肝炎・肝硬変、炎症性腸疾患など専門性が求められる疾患について診療を行っており、早期胃がん、大腸がんなどの内視鏡治療(ESD:内視鏡的粘膜下層剥離術)や肝がんの集学的治療(より高い治療効果を目指して、ラジオ波焼灼療法、カテーテル治療、最新の薬物療法などを組み合わせて治療すること)、胆膵領域の超音波内視鏡などを用いた検査・治療などの件数は九州でも有数の施設です。最先端の臨床治験も多数実施しております。



大学病院の消化器内科の役割として、地域の病院で働く若手医師へ向けた内視鏡やエコーのハンズオンセミナー(専門家による体験型の学習支援)や住民の皆さんへの疾患啓発活動も積極的に行っています。もし市民公開講座のチラシをご覧になった際には、ぜひご参加ください!



©2010熊本県くまモン 撮影日2023/7/23

中央放射線部

中央放射線部は、2006年から現在の中央診療棟で各診療科から依頼された検査や治療を実施しております。当部門には、診断部門(一般撮影、透視、超音波、CT、MRI、核医学、血管造影)と、放射線治療部門があります。

診断部門では高度な診断装置が数多く設置され、高画質・高機能のCT・MRI検査、癌のステージングに有用なPET検査等を行っております。また、血管造影室では血管造影装置を用い、カテーテル血管内治療やCTガイド下の生検、ラジオ波焼灼術、凍結療法を施行しています。そのほか核医学においては、様々な放射線核種を用いた内照射癌治療を実施しています。

放射線治療部門では強度変調放射線治療、画像誘導放射線治療、定位放射線治療に特化した高精度放射線治療システムを導入しており、いわゆるピンポイント放射線治療を安全に受けていただくことができます。



中央放射線部には、放射線診断医、放射線治療医、診療放射線技師、看護師の充実したスタッフが従事し、2022年度には、CTは約29,000例、MRI約13,500例、核医学約4,700例、血管造影約3,200例、放射線治療約950例を検査・治療しています。スタッフ一同、患者さんの安心・安全を第一に効率的に運用し、様々な高度な検査や治療を提供できるように力を合わせて取り組んでいます。



中央放射線部 看護師の活動紹介

中央放射線部の看護師は「血管造影・心臓カテーテル室、放射線治療室、CT室、MRI室、エコーセンター、透視室、PET/RI室、内視鏡室」を担当し患者様の検査や治療に携わっています。その中で特に大事にしている取り組みについて、ご紹介します。

「患者様の思いをつなぐ」

まず「患者様の思いをつなぐ」に取り組んでいます。患者様の中には検査や治療中に不安や今後の生活について希望を話されたりします。私たちはその言葉を記録し、外来や病棟の医師・看護師に連絡して患者様の思いや意向が途切れることがないようにしています。放射線治療室では、患者様の治療が継続・終了できるように必要な支援を一緒に考え、地域連携室、栄養管理室、患者サービス課など多くの部署と連携しています。その結果、放射線治療後に就労支援を希望した患者様お二人が就労できました。



「タスク・シフト/シェア」の取り組み

また医師の働き方改革を踏まえ、中央放射線部の診療放射線技師と共に「タスク・シフト/シェア」の推進に取り組んでいます。



診療放射線技師に点滴確保と抜去の方法を指導する看護師

看護師は役割拡大の観点より、2005年から点滴確保を実施しています。医療法の改正により2021年からは研修を修了した診療放射線技師が点滴の確保と抜去が可能となりました。実施にあたり看護師は診療放射線技師に数回に分けて点滴確保と抜去の方法を指導しました。また患者様に点滴確保を実施する時は見守りを行い安全性の確保に協力しました。

現在は患者様をお待たせしないように、対応できる看護師または診療放射線技師が点滴確保や抜去を行っています。また、タスク・シフト/シェアにより診療放射線技師と看護師が技術を共有した事で、患者様の状態に合わせて針の大きさや造影剤の注入速度を話し合っています。その結果、造影CT検査時の造影剤の血管外への漏れは、以前の約半分に減少し検査時の安全性の向上につながりました。

今後もさらに安心、安全な検査・治療の提供を目指して行きますので、検査や治療の中で生じた不安や疑問は、その都度お伝えください。多職種で協力し、お答えしていきます。

総合案内

- ① 受付時間 初診 8:30~11:00《紹介状必要》 再診 8:30~16:00
8:05~(自動再来受付機)
- ② 予約受付時間 8:30 ~ 17:15
- ③ 診療時間 8:30 ~ 17:15
- ④ 休診日 土曜、日曜、祝日、振替休日および年末年始(12月29日~1月3日)
- ⑤ 診察日 ◎印(外来診療日参照)の日は初診も再診も行なっております。
- ⑥ 通常の診療以外に次の相談、検診を行なっております。
■ 禁煙外来(呼吸器内科) ■ セカンドオピニオン(全診療科)
■ 検査カフェ(中央検査部) ■ 不妊相談(産科)

※再診受付開始は、当日最初の診察・検査の予約時間の1時間前からです。診察券・保険証をお持ちください。予約日時の変更等が生じた方は「外来予約センター」をご利用下さい。

外来診療日

※2023.10.01 現在

- 診療日一覧(初診・再診◎、再診のみ一再、特殊再診二特再、休診日=休)
- 全診療科完全予約制、初診は紹介状が必要です。
- 脳神経外科の初診はCTもしくはMRIのCD-ROMも必要となります。

		診療科名	月	火	水	木	金
外来診療棟	1階	A 循環器内科	◎	◎	◎	◎	◎
		心臓血管外科	休	◎	休	◎	休
		総合診療科	◎	◎	◎	◎	◎
	B	脳神経内科	◎ 再AMのみ	◎	◎	◎	◎
		整形外科	休	◎	休	◎	◎
		脳神経外科	◎	休	◎	休	◎
		麻酔科・緩和ケア	◎	◎	◎	◎	◎
		C 小児外科	◎	休	再	◎	◎
	C	移植外科	◎	休	◎	◎	◎ 初PMのみ
		小児科	◎	◎	◎	◎	◎
		2階	D 糖尿病・代謝・内分泌内科	◎	◎	◎	◎
	乳腺・内分泌外科		◎	◎	◎	◎	休
	病理部		病理解剖	病理解剖	病理解剖	病理解剖	◎
	E	血液内科	◎	再	◎	◎	◎
		膠原病内科	◎	再	◎	◎	◎
腎臓内科		◎	◎	◎	◎	◎	
F	呼吸器内科	◎	◎	◎	再 AMのみ	◎	
	消化器内科	◎	◎	◎	◎	◎	
	呼吸器外科	休	◎	休	◎	◎	
	消化器外科	◎	◎	◎	◎	◎	
G	皮膚科	◎	再	◎	◎	◎	
	形成外科	休	休	◎	◎	休	
3階	H 歯科口腔外科	◎	◎	◎	◎	◎	
	I 眼科	◎	◎	休	◎	特再	
	J 耳鼻咽喉科・頭頸部外科	◎	休	◎	休	◎	
		◎	休	◎	休	◎	
	L 泌尿器科	◎	◎	◎	◎	◎	
◎		◎	◎	◎	◎		
4 M 神経精神科	◎	再	◎	◎	◎		
中央診療棟	B1階 放射線治療科	◎	◎	◎	◎	◎	
	2階 リハビリテーション科	休	◎	休	◎	◎	

熊大病院は高度医療を提供する「特定機能病院」として厚生労働省から認証を受けています。地域医療機関との分業を行なうため、原則としてかかりつけ医(他の医療機関)の紹介状が必要です。円滑な診療のために紹介状をご持参ください。紹介状がない場合でも受診できますが、初診の際に「保険外併用療養費(選定療養)」として7,700円(自費)をご負担いただきます。

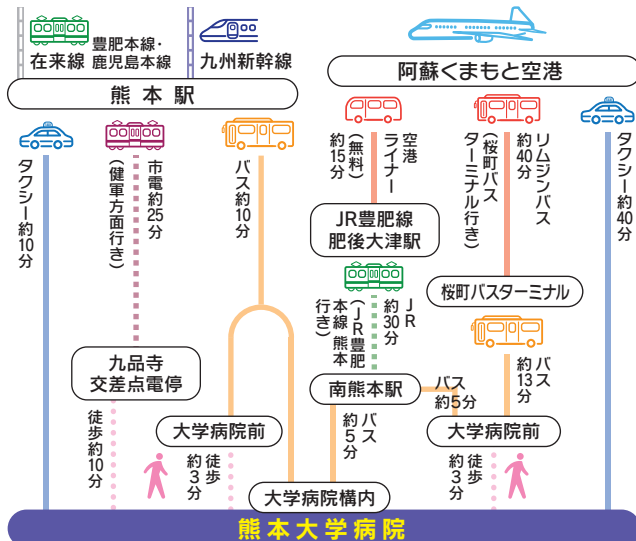
病棟案内

【西病棟】	【東病棟】
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	12F 院内学級、多目的ホール、患者多目的室、ライブラリー・インフォメーション、看護部
血液内科、膠原病内科	11F 呼吸器内科、呼吸器外科、感染病棟
泌尿器科、皮膚科、形成外科	10F 歯科口腔外科、泌尿器科
脳神経内科、糖尿病・代謝・内分泌内科	9F 眼科、循環器内科、消化器外科、救急部、腎臓内科
小児科、総合周産期母子医療センター(NICU、GCU)	8F 小児外科、移植外科、呼吸器外科、血液内科、膠原病内科、循環器内科、緩和ケア病棟、小児科
総合周産期母子医療センター(産科、MFICU)	7F 婦人科、乳腺・内分泌外科、脳神経外科
ICU、腎・血液浄化療法センター	6F 心臓血管外科、HCU
脳神経外科、画像診断・治療科、腎臓内科、SCU	5F 循環器内科、CCU
消化器外科、腎臓内科	4F 消化器外科
R I	3F 消化器内科
神経精神科	2F 整形外科、救急部
栄養管理室、栄養相談室、防災センター	1F 薬剤部、売店、美容室

院内案内



交通アクセスのご案内



外来予約センター TEL 096-373-5973

感染症等の流行状況に応じて、掲載内容に変更が生じる可能性があります。最新情報はホームページをご覧ください



熊本大学病院 〒860-8556 熊本市中央区本荘1丁目1番1号
TEL(096)344-2111(代) FAX(096)373-5906
https://www.kuh.kumamoto-u.ac.jp/